

地球温暖化・省エネ ～地球環境のために、私たちにできることから始めよう～

地球温暖化が与える影響を考えよう ～家庭でできる省エネ対策（冷蔵庫の節電）～



対象	小学校高学年～一般	実施方法	講話
参加可能人数	—	所要時間	45分～60分
ねらい	地球温暖化についての正しい知識を知り、これ以上地球温暖化が進まないように、私たちにできることを考え、省エネ対策を実践するきっかけづくりとします。		
内容	<p>地球温暖化のしくみ、地球温暖化が世界や日本に及ぼす影響について説明し、地球温暖化をこれ以上進めないために、私たちにできる取り組みや、地球温暖化の最新の情報を紹介します。また、家庭でできる省エネ対策について説明します。たとえば、家の中で一番電気を多く使うのは冷蔵庫です。冷蔵庫の中を整理整頓することで、冷蔵庫の省エネが進みます。家庭でできる省エネ対策について、一緒に考え取り組んでいきましょう。</p>  		
講師からのメッセージ	毎日の暮らしの中で、家電製品等を上手に使い、エネルギーのムダ遣いを減らしましょう。そして、家庭からでる二酸化炭素を減らしていきましょう。		
講座を受けての体験談	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の温暖化の影響をとらえた写真は、子どもたちの理解をより深めたと思います。子どもたちは、地球温暖化を自分たちの問題として捉えることができました。温暖化が自分たちの生活に大きく関わっていることや、自分たちの頑張りや地球環境をよくすることができることを知りました。 ・グループに分かれ、各家庭で実施している省エネ対策について話し合いました。同じ省エネ対策を実践している人、新たに省エネを始めなければならない人など、さまざまな意見が出て、家庭の省エネを見直すよい機会となりました。 		
備考	温暖化のしくみや影響、家庭でできる省エネ対策（冷蔵庫の節電）など、ご要望に合わせて内容を組み立てることができます。		

食と交通から環境問題を考えよう ～フードマイレージ買い物ゲーム～



対象	買い物ゲーム：小学校中学年～一般 キッズ版：幼児～小学校低学年	実施方法	講話+実習
参加可能人数	40人程度	所要時間	45～60分
ねらい	買い物ゲームをすることで、日ごろの買い物にどれだけ環境負荷がかかっているのかを知り、実生活で「環境負荷」を意識した行動につなげます。		
内容	<p>フードマイレージ買い物ゲーム 地球温暖化をこれ以上進めないために、私たちにどんなことができるのかを楽しくゲームする中で考えます。グループに分かれて、食材カードを使いながら、昔と今の買い物を疑似体験します。昔と現在の食事を比較することで、①食材の産地の変遷、②旬の喪失、③食料自給率の変化、④モータリゼーションの進展によるライフスタイルの変化に気づきます。そして、どれだけ多くの二酸化炭素を出しながら、私たちが生活しているのかを知ります。私たちにできることとして、「旬を意識した買い物」や「環境にやさしい移動方法」について一緒に考え、行動につなげます。</p> <p>フードマイレージキッズ版 パネルシアターを使って説明するため、小さな子どもでも、地球温暖化やフードマイレージについて楽しく学ぶことができます。</p> 		
講師からのメッセージ	地球温暖化をこれ以上進めないために、私たち一人一人ができる取り組みは、小さなものかもしれませんが、その小さな取り組みを多くの人が実践することにより、大きな取り組みとなります。まずは、できることから始めてみましょう。		
講座を受けての体験談	<ul style="list-style-type: none"> ・フードマイレージについて知らなかったのので、今回、買い物ゲームをしてみて「とてもおもしろい」と思いました。 ・フードマイレージについて勉強し、「環境のことを考えて食材を買いたい」と思うようになりました。 ・「旬を意識して買い物をしよう」と思います。 		
備考	フードマイレージとは 食料が生産地から食卓まで運ばれるときに、環境に負担をかける大きさ（二酸化炭素排出量）		

再生可能エネルギーを知ろう



対象	小学校高学年～一般	実施方法	講話
参加可能人数	—	所要時間	45～60分
ねらい	世界規模で地球温暖化の影響が懸念される中、太陽光発電をはじめとする環境にやさしい再生可能エネルギーが注目されています。太陽光発電、風力発電、バイオマス発電などの特徴を知り、再生可能エネルギーを導入する意義を学びます。		
内容			

私たちの生活は、石油や石炭、天然ガスなど化石燃料に、その多くを頼っています。化石燃料を使って、電気をつくると地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生します。これに対して、新たなエネルギー源として期待される「再生可能エネルギー」は、太陽や風などの自然の力を利用するので、枯渇することがなく、電気をつくるときに二酸化炭素を発生しません。こうした太陽光発電や風力発電、バイオマス発電などの「長所」と「短所」を紹介します。そして、電気を大切に使うこと（節電の大切さ）や、地球温暖化対策として「再生可能エネルギー」を導入していく意義について説明します。



講師からのメッセージ

徳島市は年間の日照時間が長く、全国的にも太陽光エネルギーに恵まれた地域です。この特性を生かして、地球温暖化対策として太陽光発電の普及を図っています。

緑のカーテンをつくろう



対象	小学校中学年～一般	実施方法	講話
参加可能人数	—	所要時間	30～45分
ねらい	夏の地球温暖化対策・省エネ対策として、ゴーヤやアサガオなどの植物を育ててつくる緑のカーテンの効果・作り方を学びます。		
内容			

青々と葉が茂った緑のカーテンを作るには、土づくり、苗の定植、水やり、追肥の方法、ネット張りなど、育て方のポイントがあります。緑のカーテンの作り方や、どうして緑のカーテンが涼しくなるのかなど緑のカーテンの効果について説明します。夏の省エネ対策として、緑のカーテンづくりに取り組み、楽しく地球温暖化対策に取り組みましょう。



講師からのメッセージ

緑のカーテンは、見た目にも涼しく、夏の風物詩となりました。“育てて、食べて、作って楽しい緑のカーテン”を作ってみませんか？

講座を受けての体験談

みんなで協力しあって立てた支柱や植えた苗を見ると、愛着が湧いてきます。暑い夏に向けて水やり、追肥など愛情込めて育てていきたいと思えます。